

## 教科目名 地域計画学 (Regional Planning)

専攻名・学年 : 機械・環境システム工学専攻 2年 (教育プログラム 第4学年 ○科目)

単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ, 授業時間 23.25時間)

担当教員 : 亀野 辰三

授業の概要			
地域計画とは、都市を中心として農村およびリゾート地域などを含めて地域全体の開発計画が、各地域地区の特性を活かすとともに、国土全体から見てバランスのとれたものであるように計画することをいう。しかし、地域計画は地域経済と密接な関係を有することから、本講義では地域経済学の基礎も学習する。地域経済学の内容としては、日本の現状を時代の潮流の中で捉えるとともに、EU・ASEAN等の広域経済圏や地域計画に影響を及ぼしている経済理論も併せて学ぶことになる。本講義では、国際経済、戦後の地域計画の歴史、現在の都市・地域が抱えている様々な課題等を身近な事例や新聞記事を多用して学習することにより、教養豊かなエンジニアになることを目指している。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(E1), JABEE目標(d1)	
(1) 地域計画及び地域経済学の基礎知識が理解できる。(定期試験)			
(2) 現在の都市・地域が抱える様々な課題を理解できる。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1. 地域計画概説	○地域計画の全体像を理解する。	【理解の度合い】
2-4	2. 地域計画をめぐる時代の潮流 2.1 時代の潮流	○時代の潮流(少子高齢化・財政・環境エネルギー・国際化)を理解する。	
5	2.2 人口減少社会	○将来人口の予測に用いる回帰分析を理解する。	
6	2.3 人口調査と将来人口の予測	○国と地方の財政問題を理解する。	
7,8	2.4 日本の財政の現状	○戦前・戦後から現在に至る地域計画を理解する。	
9	3. 地域計画の歴史		
10	3.1 戦前～戦後の地域計画		
9	前期中間試験		
10	前期中間試験の解答と解説	○わからなかった部分を理解する。	【試験の点数】 点
11,12	3.2 全国総合開発計画	○全国総合開発計画の概要を理解する。	
13,14	3.3 近年の地域計画の動向	○新自由主義政策が地域経済・地域計画に及ぼす影響について理解する。	
	4. 世界の広域経済圏	○グローバリゼーションは国家を超えて形成され、なお拡大を続けていることを理解する。	
	4.1 広域経済圏の種類	○EU,ASEAN等の国家を超える広域経済圏について理解する。	
15	4.2 EU		
	4.3 ASEAN		
15	前期期末試験		
	前期期末試験の解答と解説	○わからなかった部分を理解する。	
履修上の注意	地域・都市問題に興味を持つ学生の受講を望む。 適宜プリントを配布するのでファイルを用意しておくこと。また、地域計画・地域経済に関する演習問題を課すので、日頃から世界や日本の地域づくりの動向に関心を持つこと。		【総合達成度】
教科書	使用しない		
参考図書	日本まちづくり協会編、『地域計画』, 森北出版		
自学上の注意	演習問題や宿題を多く課すので、学生は教科書、参考書、インターネット、図書館学習等を通じて自ら調べて提出すること。		
関連科目	交通システム工学, 環境計画 (C科), 都市計画 (C科), 道路交通工学 (C科)		
総合評価	達成目標の(1)と(2)について2回の定期試験で評価する。 総合評価 = (前期中間試験 + 前期期末試験の成績) × 1/2 総合評価が60点以上を合格とする。再試験は、総合評価が60点に満たない者に対して実施する。		【総合評価】 点